

総合的な学習の時間を通した 個別最適な学びと協働的な学び

5 年【地域野菜のおいしさを広める学習】を通して

相模原市立大島小学校 荒木真人

未来へつなぐ 私たちの文化

～大ちゃん野菜のおいしさを広めよう～

単元を支える キーパーソン



和泉 大樹 氏



大ちゃん野菜



食文化→野菜

今に残る文化って何だろう？

15

○大島のすごい・ふしぎ・こまったを探そう
○GT()による講演

◇市内・大島に残る文化に関する調査
◇GTとのやりとり

☆未来へつなぎたい文化の応援方法を探る
☆GTとのやりとり

◎未来へつなぎたい文化を応援する計画を立てる

文化を未来へつなぐための工夫を考えよう

35

○計画をみてもらおう
○GTIによる講演

◇計画を練りなおすための情報収集
◇GTとのやりとり

☆計画の練り直し

◎製品作り
◎振り返り

わたしたちの文化を未来へ発信しよう

20

○アンケート

◇調査活動・学びの振り返り
◇GTとのやりとり

☆発信方法の検討
☆GTとのやりとり

◎メディアへの宣伝
◎学習発表と振り返り

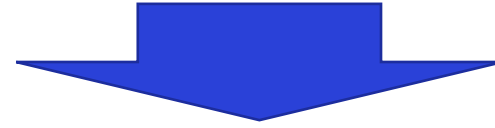
70

70

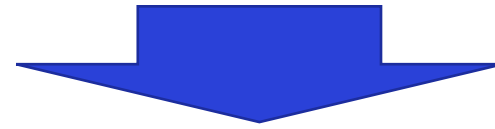
弁当作り→販売

和泉 大樹さんとの出会い

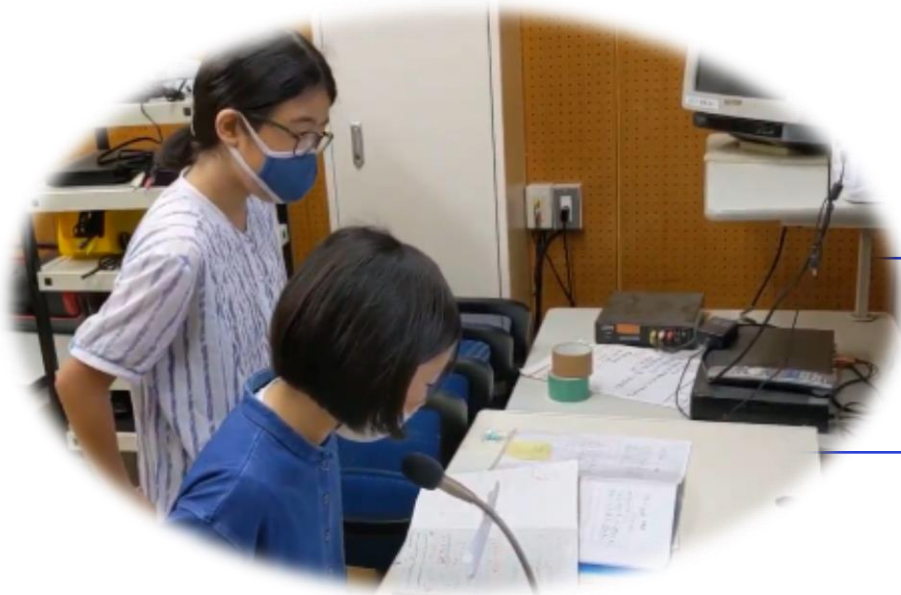
大島が東京に
一番近い野菜
の産地として
認められたい



思いを実現するための活動決め

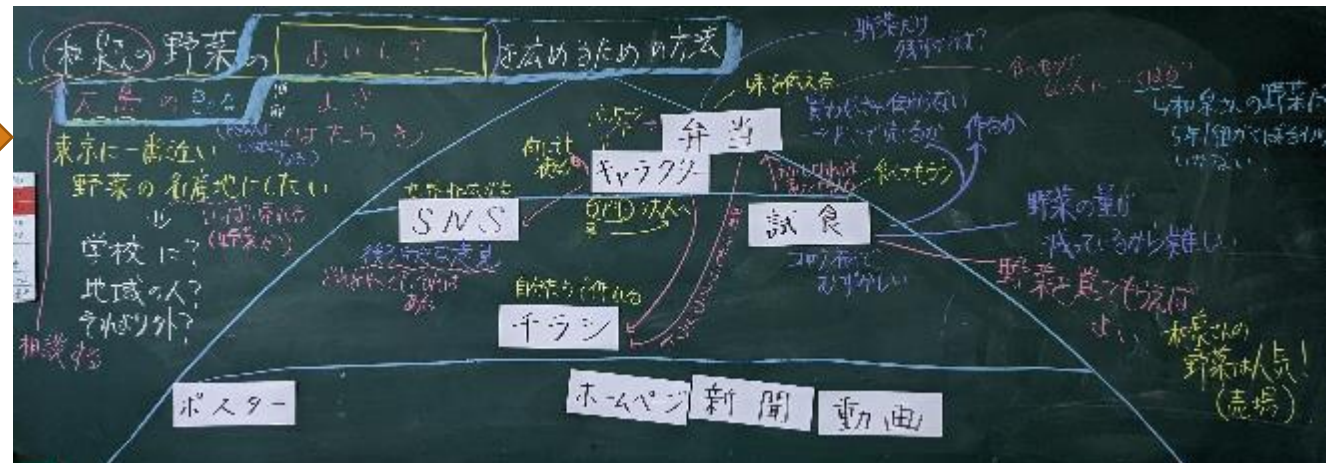


校内での広報活動





A person wearing a light blue face mask and a green shirt is writing on a piece of paper with a black marker. The paper has some text and a small drawing. The person is sitting at a desk with a yellow surface.



弁当を作って多くの人に食べてもらいたい

校外に
広める
取組

野菜のおいしさを広める弁当作り

企画・検討

種類は？

食材は？

費用は？

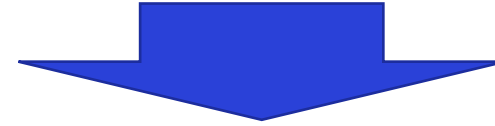
数は？

どこで？

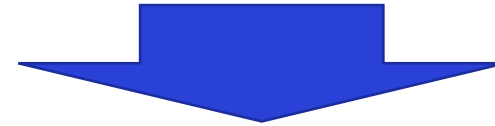
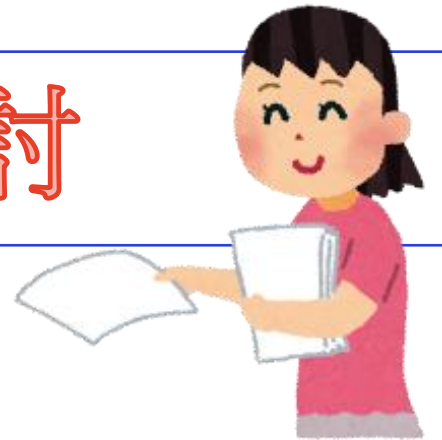
宣伝は？



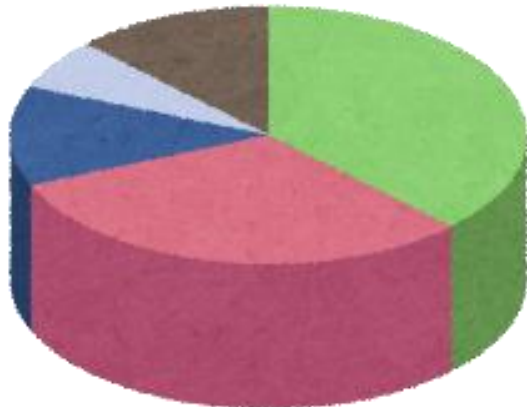
協力者による店頭販売



宣伝活動の検討



効果の検証



実践の中での
個別最適な学び・協働的な学び

課題の設定～情報の収集場面

食べてもらいたい人
(ターゲット)を決める



子供向け



お年寄り向け



たくさん食べたい人向け



軽く食べたい人向け



甘いものが好きな人向け

学習の個性化

ターゲットに合う
弁当を考える

学習の個性化

興味

関心

キャリア



子供向け弁当

「自分の好き嫌いも
生かせそうだな」



お年寄り向け弁当

「地域に住むお年寄りが
増えているって聞いた」



たくさん食べたい人向け弁当

「おすすめの旬野菜はたくさんあるよ」
「たくさんおいしい野菜を食べてほしいな」



軽く食べたい人向け弁当

「少なめで喜ばれる
こともあるかも」



甘いものが好きな人向け

「お菓子なら作ったことある」
「野菜スイーツを作ろうよ」

課題の設定～情報の収集場面

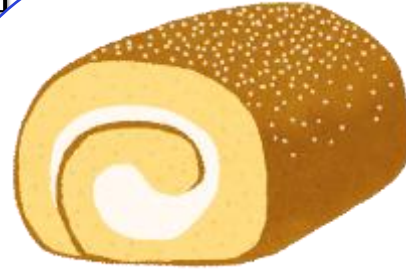
食べてもらいたい人
(ターゲット)を決める

ターゲットに合う
弁当を考える

同じターゲットをもつ
友達とチームを作る

指導の個別化

自ら学習を調整

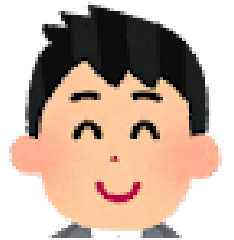


**「スイーツを作るのに、
牛乳が必要だね」**



**「北島牧場の人と話したい・・・」
「でも電話番号が・・・」**

**「スイーツチームはどうやって
北島牧場を知ったの？」**



**「和泉さんに教えてもらったんだから
きいてみればいいんだ！」**

整理・分析～まとめ・表現場面

ターゲットを
「子供」と決める

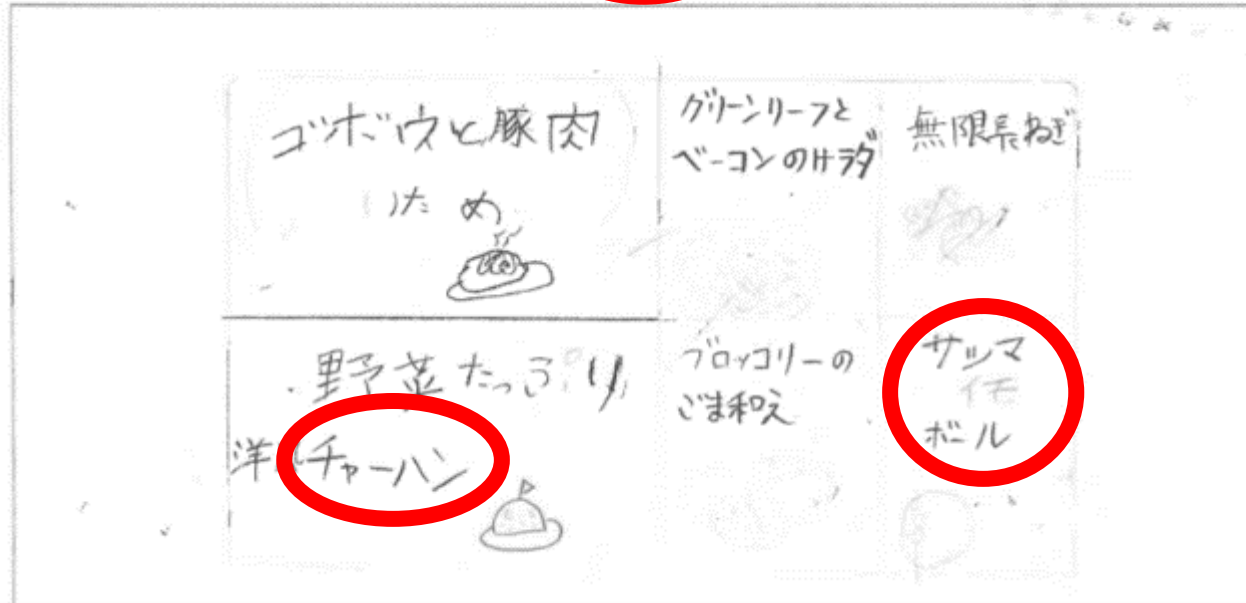
収集した情報から
子供の好みに合うものを選ぶ

別なチームとも相談する

協働的な学び

新たな気づき

【弁当のなまえ】：大ちゃんのお子様弁当



- ・子供が好きな物を集めました
- ・ツナ缶(1缶)とめんつゆ、ごま油を両方小さじ1いれます
- ・チャーハンにはレタスが入っています
- ・ツナ缶の缶汁はセキります
- ・ゴボウと豚肉いためは、少し焼き肉の外に甘いやつを入れます
- ・量は少なめにします
- ・チャーハンの卵は津久井ふさと卵を使います
- ・豚肉は夢ボクのうさぎ豚を使います
- ・ブロッコリーのごま和えにはしょうゆを小さじ1を入れます
- ・ベーコンは市販のを使いたいと思います
- ・粉チーズをグリーンリーフとベーコンのサラダにかけます
- ・粉チーズは市販のを使います

大ちゃん野菜以外の
食材調達について考える

地域野菜全般へ意識が広がる

地域の方との協働

協働的な学び



**トマトの収穫は
1月からなんだよ**

新たな知識の獲得

ごはんにはたまごをのせて、オムライスみたいにした。...
ポテトチップスみたいに食べたいと思っせようとした。(フライドだいこん)

ちかくのトマトハウスのトマトを使いたい。

いっかいしまぜない

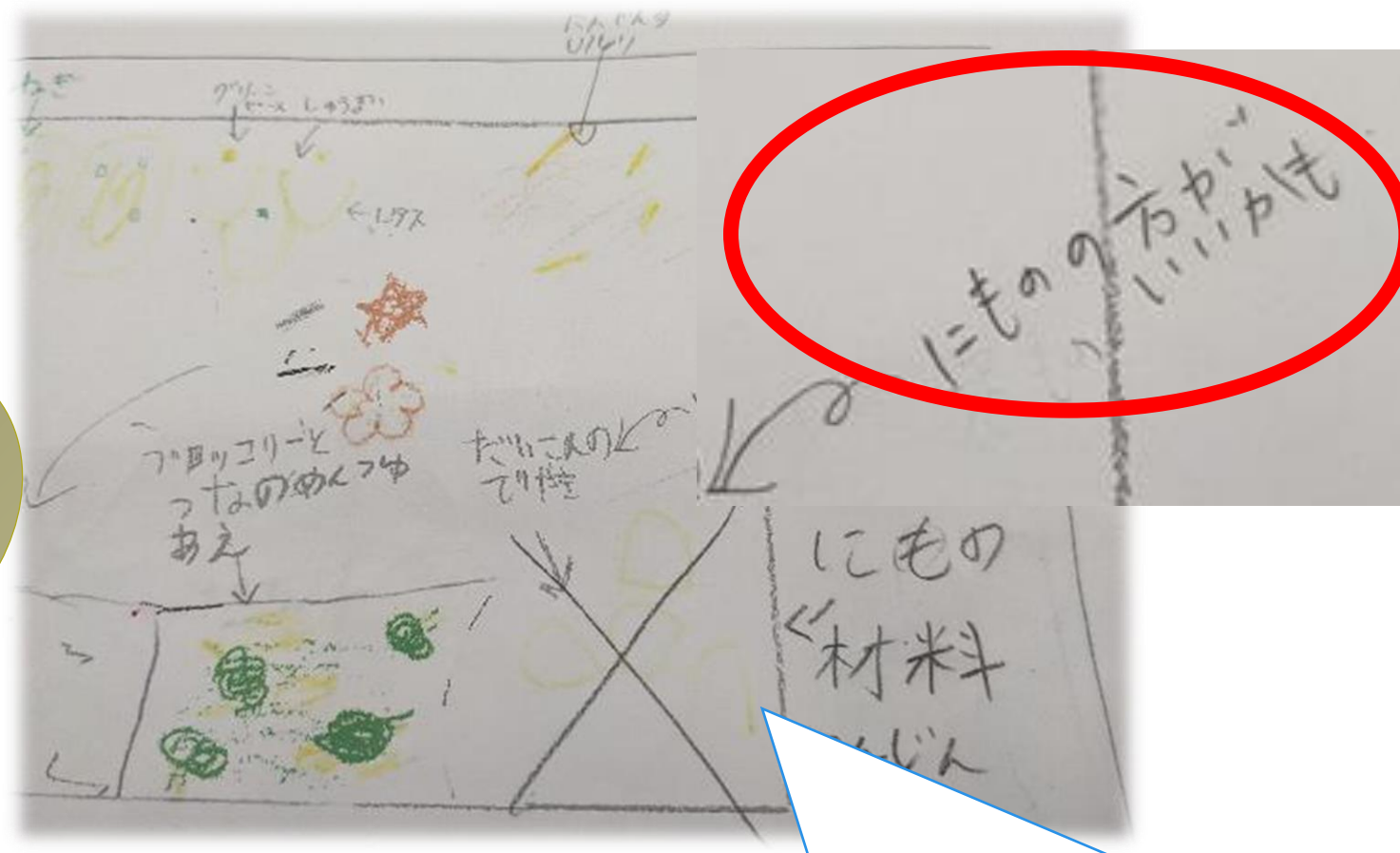


地域の方との協働

メニュー提案

協働的な学び

フィードバック

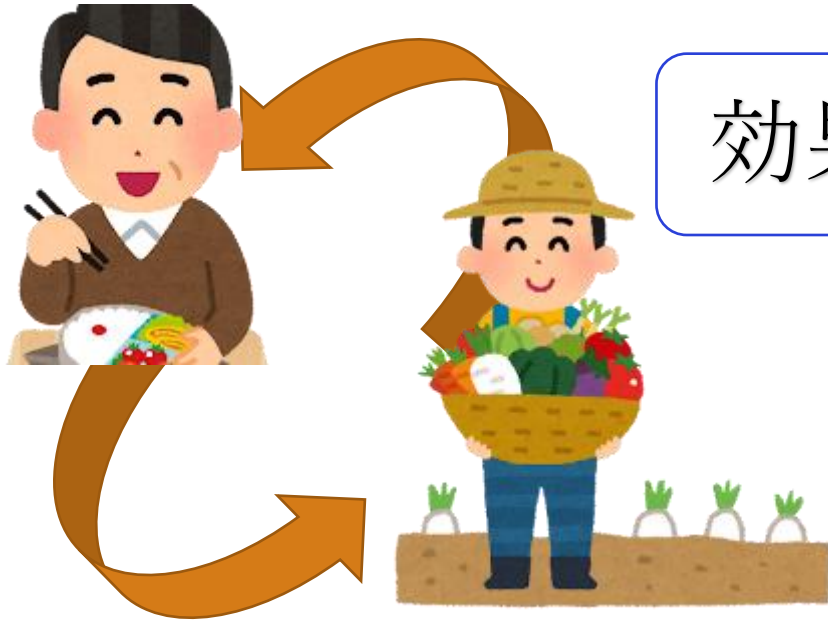


大根の照り焼きではなくて
煮物の方がいいかも

探究の深まり

今後…

宣伝における方法検討と活動



効果の検証 次の探究サイクルへ



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の手続き

探究を深める

知識が広がる

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文